

エコアクション21

2024年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年9月~2024年8月)



旭工芸株式会社

作成日 2024年 12月 20日
改定日



®環境省
エコアクション21
認証番号 0003320

ごあいさつ

当社は、硝子製品の塗装・印刷加工の事業活動により、発生する温暖化ガス(CO2)・廃棄物等の環境負荷の削減を実施するため環境経営システム“エコアクション21”システムを構築し、最高責任者を筆頭に社員一同力を、合わせて継続的に取り組んでいます。

旭工芸株式会社

代表取締役社長 小峰 伸吉

<目次>

1. 環境経営方針	3p
2. 組織の概要	4p
3. 認証・登録の対象範囲	4p
4. 実施体制と役割	5p
5. 主な環境負荷の実績	6p
6. 環境経営目標・実績	6~7p
7. 環境活動計画の取組結果と評価及び 次年度の取組内容	8p
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 ...	9p
9. 代表者による全体の評価と見直し	9p

1. 環境経営方針

＜環境理念＞

弊社は、一般硝子瓶・化粧瓶の静電塗装及び印刷加工の事業活動を通じて、環境保全に役立つ経営が、重要課題である事を認識し、環境に優しい事業活動を行う為に、環境経営システムを構築し、最高責任である社長を、筆頭に全部門一丸となって、継続的に実行、改善を行います。

＜環境活動指針＞

1. EA21に基づく環境経営システムに取り組み、環境関連の法令、条例等の規制事項を遵守するとともに地域、業界顧客の環境関連要求事項に配慮しつつ、環境活動の継続的改善を図る。
2. 環境経営目標及び環境経営計画として、下記の重点項目を設定し必要に応じて見直す事によって環境経営方針に整合した活動を行う。

- ① 省エネルギーの推進によるCO2排出削減
- ② リサイクル及び計画を重視し、材料の調合と生産による廃棄物の排出量の削減
- ③ 適正使用による総排水量の削減
- ④ 環境負荷／化学物質、悪臭、騒音、振動等の削減
- ⑤ 一般廃棄物の削減

3. 環境方針は全従業員に周知すると共に、社外に公表します。

制定：2008年 2月 1日

改定：2018年 9月 1日

旭工芸株式会社

代表取締役社長 小峰 伸吉

2. 組織の概要

1) 名称及び代表者氏名

・旭工芸株式会社 代表取締役社長 小峰 伸吉

2) 所在地

・本社／江戸川工場 東京都江戸川区南篠崎町4-31-20
・小見川工場 千葉県香取市木内1182-24

3) 環境管理責任者氏名及び担当

・責任者	江戸川工場長	花輪 裕士	Tel 03-3678-0978
(副)	小見川工場長	神崎 純一	Tel 0478-82-8280
・担当	事務局(本社)	鈴木 保夫	Tel 03-3678-0978
	事務局(小見川)	鈴木 保夫(兼)	Tel 0478-82-8280

4) 事業内容

硝子製品(一般瓶・化粧瓶等)の塗装及び印刷加工業

- ・塗装……静電、スプレー
- ・印刷……スクリーン印刷、ホットスタンプ印刷、パッド印刷



5) 事業規模

・資本金	20百万円
・売上高(2024年度)	894百万円
・従業員数 (江戸川本社工場)	61名
(小見川工場)	45名
・延べ床面積(江戸川本社工場)	4,996㎡
(小見川工場)	2,983㎡

6) 事業年度

9月～8月

3. 認証・登録の対象範囲

- ・対象事業所 : 旭工芸株式会社
本社・江戸川工場、小見川工場
(※小見川工場は2012年2月に拡大認証・登録)

4. 実施体制と役割

旭工芸株式会社

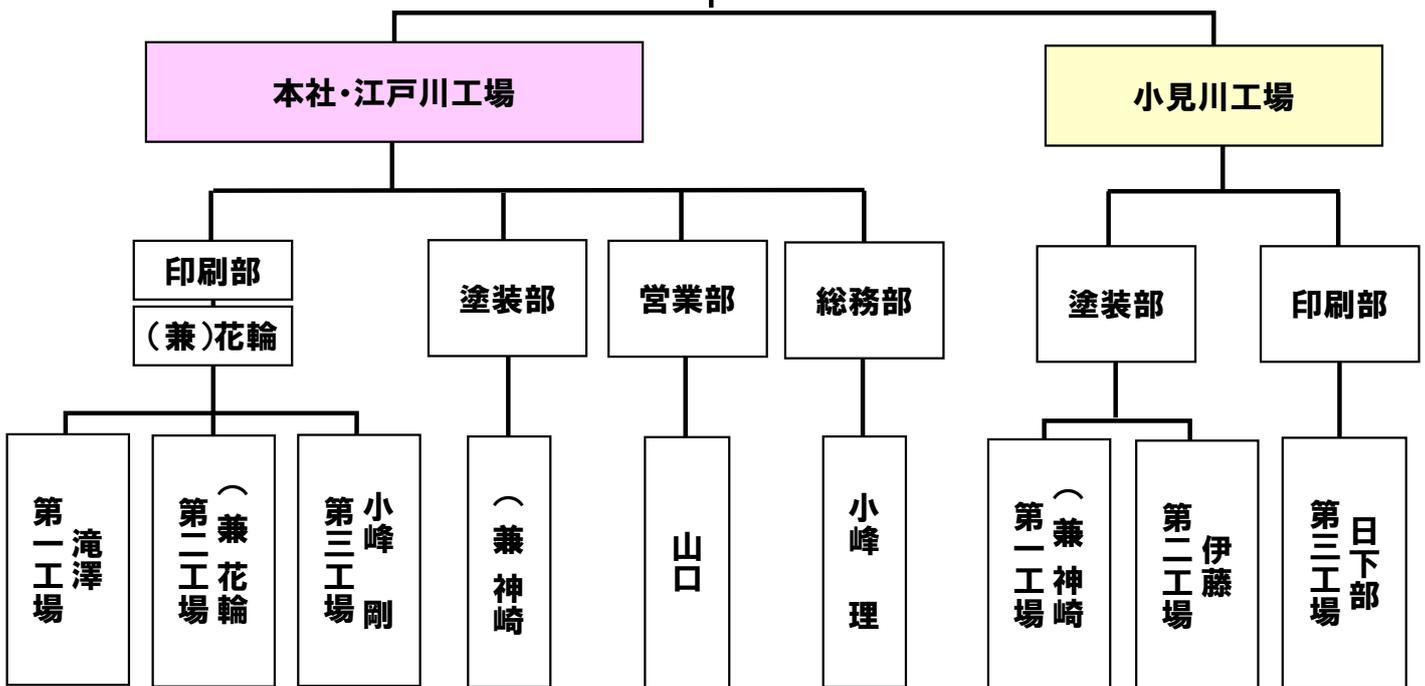
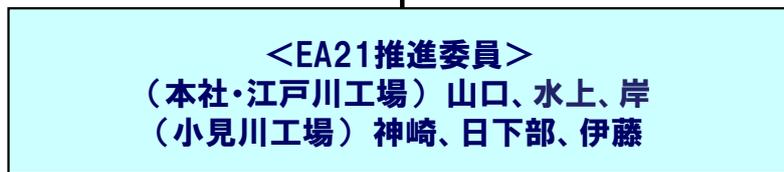
制定 2008年 1月
改定 2023年 10月

<エコアクション21推進委員会>
1回/月 10日 15:00~16:00
メンバー:

- ・代表責任者
- ・環境管理責任者
- ・EA21推進委員
- ・事務局



事務局
鈴木(保)



【 役割 】

- ・代表責任者 環境経営方針の見直し及び、環境責任者の任命。
課題とチャンスとを明確にし環境経営方針、環境経営目標に反映する。
- ・環境管理責任者 現状を把握し、環境改善のインプットに対しアウトプットを評価し、
是正及び対策を行う。環境マネジメントの推進及び社長への報告。
- ・EA21推進委員 環境経営目標と環境経営計画の推進及び実績の報告と評価。
- ・事務局 EA21の連絡窓口、EA21推進委員会の進行、環境レポートの作成。
- ・各職場の担当者 チェックシートの記入、作業員への指示、伝達及び確認

5. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	本社・江戸川	791,520	648,823	582,716	874,279	651,311
	小見川	1,650,922	1,381,617	1,296,275	1,066,082	1,020,405
	全社(計)	2,442,442	2,030,440	1,878,991	1,940,361	1,671,716
廃棄物排出量 (産業廃棄物)	本社・江戸川	37,380	41,400	34,390	38,260	26,445
	小見川	87,735	81,600	85,665	77,070	72,285
	全社(計)	125,115	123,000	120,055	115,330	98,730
総排水量(水使用量)	本社・江戸川	1,255	1,278	1,169	1,003	978
	小見川	1,519	1,276	1,286	1,090	1,150
	全社(計)	2,774	2,554	2,455	2,093	2,128

6. 環境経営目標・実績

アウトプット項目	年度	基準年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度	
			基準値	目標値				実績値
二酸化炭素(CO2)排出量削減	全社(Kg-CO2)	1,940,361	1,636,309	1,494,051	1,541,198	1,541,198	1,541,198	
	本社江戸川工場(Kg-CO2)	874,279	570,227	473,645	475,116	475,116	475,116	
	小見川工場(Kg-CO2)	1,066,082	1,066,082	1,020,406	1,066,082	1,066,082	1,066,082	
	電力使用量の削減	本社江戸川工場(Kwh)	1,243,415	1,243,415	1,032,509	1,243,415	1,243,415	1,243,415
		基準年比	(2022年度)	現状維持	83.0%	現状維持	現状維持	現状維持
		小見川工場(Kwh)	2,323,137	2,323,137	2,213,579	2,323,137	2,323,137	2,323,137
		基準年比	(2022年度)	現状維持	95.3%	現状維持	現状維持	現状維持
	ガス(LPG)使用量の削減	本社江戸川工場(kg)	1,903	1,903	1,464	1,903	1,903	1,903
		基準年比	(2022年度)	現状維持	76.9%	現状維持	現状維持	現状維持
		小見川工場(kg)	10,354	10,354	3,550	10,354	10,354	10,354
		基準年比	(2022年度)	現状維持	34.3%	現状維持	現状維持	現状維持
	ガソリン使用量の削減	本社江戸川工場(L)	1,443	1,443	1,377	1,443	1,443	1,443
基準年比		(2022年度)	現状維持	95.4%	現状維持	現状維持	現状維持	
小見川工場(L)		4,521	4,521	4,921	4,521	4,521	4,521	
基準年比		(2022年度)	現状維持	108.8%	現状維持	現状維持	現状維持	
廃棄物	本社江戸川工場(kg)	38,260	38,260	30,825	38,260	38,260	38,260	
	基準年比	(2022年度)	現状維持	80.6%	現状維持	現状維持	現状維持	
	小見川工場(kg)	77,070	77,070	72,285	77,070	77,070	77,070	
	基準年比	(2022年度)	現状維持	93.8%	現状維持	現状維持	現状維持	
総排水	合計(kg)	115,330	115,330	103,110	115,330	115,330	115,330	
	本社江戸川工場(m³)	1,003	1,003	838	1,003	1,003	1,003	
	基準年比	(2022年度)	現状維持	83.5%	現状維持	現状維持	現状維持	
	小見川工場(m³)	1,090	1,090	1,150	1,090	1,090	1,090	
化学物質(PRTR物質)の維持管理 (2021年度より工場別表示 基準年以下)	基準年比	(2022年度)	現状維持	22%	現状維持	現状維持	現状維持	
	小見川工場(kg)	47,598	47,598	41,522	47,598	47,598	47,598	
	基準年比	(2022年度)	現状維持	87%	現状維持	現状維持	現状維持	
	合計(m³)	42235	42235	42235	42235	42235	42235	
一般廃棄物削減	江戸川(Kg)	426	426	338	426	426	426	
	基準年比	(2022年度)	現状維持	79.3%	現状維持	現状維持	現状維持	
	小見川(Kg)	1,827	1,827	1,858	1,827	1,827	1,827	
	基準年比	(2022年度)	現状維持	101.7%	現状維持	現状維持	現状維持	
製造工程 歩留り向上 (2022年度より運用)	合計(Kg)	現状維持	2253	2196	現状維持	現状維持	現状維持	
	江戸川(印刷)	97%以上	97%以上	達成	97%以上	97%以上	97%以上	
顧客クレーム件数改善 (2022年度より運用)	小見川(塗装)	98%以上	98%以上	達成	98%以上	98%以上	98%以上	
	全社	前年比半減	前年比半減	未達	前年比半減	前年比半減	前年比半減	

基準年度基準値 電気CO2係数: T社=0.441、G社=0.549(2社算出)
LPG係数: 3.00196、G/L係数=2.32166
2024年度実績値 電気CO2係数: T社=0.451、G社=0.486(2社算出)
LPG係数: 3.00196、G/L係数=2.32166

2025年度～2027年度の目標値は2022年度の実績値を基準とし現状維持で設定。

6. 環境経営目標・実績

年度別推移グラフ

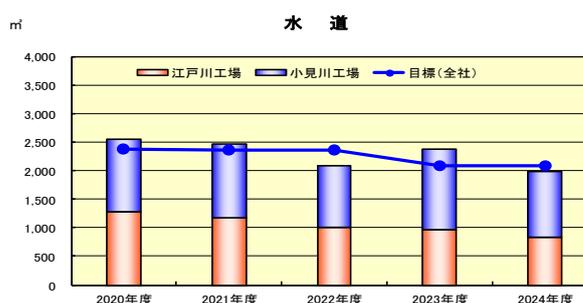
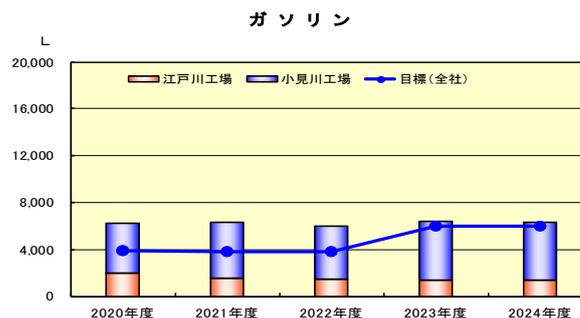
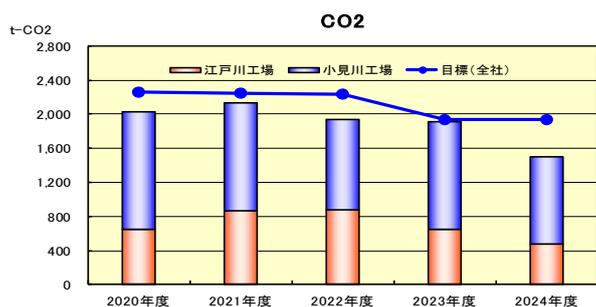
2024年度(2023年9月～2024年8月)

環境目標の年度別推移 (実績)

旭工業株式会社
全社

2024年度

(※2023年9月～2024年8月の期間)



21年度対象アイテム追加
工場別業社に変更



22年度より小見川を追加

7. 環境経営計画の取組結果と評価及び次年度の取組内容

旭工芸(株) 全社版 2024年度版

＜環境経営計画と結果及びその評価、次年度の取組内容＞

数値評価: ○ 目標達成 × 目標未達成

取組評価: ◎ よくできた ○ まあまあできた △ あまりできなかった × 全くできなかった

環境経営計画	結果		継続/変更	評価、次年度の取組内容
	江戸川	小見川		
電力による二酸化炭素排出量の削減				
数値目標	○	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
1. コンプレッサー稼働時間の管理	○	○	継続	電力購入2社購入。 両工場で受注減少により稼働減で 数値目標達成。 効率的な使用に取り組む。
2. エアコンの温度管理	○	○	継続	
3. 乾燥/焼成炉の効率使用	○	○	継続	
ガス(LPG)による二酸化炭素排出量の削減				
数値目標	○	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
1. ガスフレームの効率使用	○	○	継続	両工場稼働減によりガスフレ 作業、設備稼働減などで目標達成。
2. 脱臭機の適正使用管理	○	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減				
数値目標	○	×	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
1. 電動フォークリフトの有効活用	○	○	継続	工場間移動によるガソリンの使用 が主要因。 継続的にモニターする。
2. 使用経過観察 小見川	—	○	継続	
廃棄物(産廃)排出量の削減				
数値目標	○	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
1. 不良償却の削減	○	○	継続	両工場稼働減により達成。 両工場ともに、ライン歩留り向上で 産廃は減方向。
2. 廃インク缶の削減	○	○	継続	
3. インク廃棄量計測	○	○	継続	
水使用量の削減				
数値目標	○	×	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
1. 加湿器の効率的な使用	○	○	継続	江戸川は稼働率減により達成。 小見川は稼働減＋一部施設の漏水 にて未達成。 漏水→R6.9/22設備漏水修復済
化学物質の管理				
数値目標	○	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
1. インク、塗料使用量の把握	○	○	継続	江戸川は稼働減にて達成。 小見川は稼働減にて達成。 インク調合、塗料調合量の最少化 に取組中。
2. 有害物質の管理(置場、使用量、在庫)	○	○	継続	
3. 工場間移動量の把握	—	○	継続	
一般廃棄物の削減				
数値目標	○	×	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
1. 一般廃棄物の削減	○	×	継続	稼働増減で影響されるも継続的に 改善活動を行う。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社にて適用される主な環境関連法規制は次の通りである。

	法令等の名称	対象	要求事項・基準	検査日・結果確認・届出日・報告日等	遵守評価	担当
産廃物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物	廃棄物処理業者との委託契約 保管場所指定・業者委託回収	—	○ 2024.09.09	総務
産廃物	〃	産業廃棄物	廃棄物処理業者との委託契約 保管場所指定・業者委託回収 マニフェストの管理・届出	2023年度6月より電子マニフェストの運用開始 東京都、千葉県。	○ 2024.09.09	総務・岸
産廃物	〃	特管産業廃棄物 廃油等	廃棄物処理業者との委託契約 保管場所指定・業者委託回収 マニフェストの管理・届出	2023年度6月より電子マニフェストの運用開始 東京都、千葉県。	○ 2024.09.09	岸
化学物質	PRTR法	第1種指定化学物質	化学物質の適正管理・届出 使用量・排出量・移動量の把握 4月～6月末まで提出	2024年5月届出済 東京都、千葉県。	○ 2024.09.09	鈴木
化学物質	東京都環境確保条例	適正管理化学物質	化学物質の適正管理・届出 使用量・排出量・移動量の把握 4月～6月末まで提出	2024年5月届出済 東京都。	○ 2024.09.09	鈴木
騒音 振動	騒音・振動規制法 (東京都環境確保条例)	7.5kw以上の空気圧縮機、他	特定施設の事前届出 規制基準の遵守	2012年届出済	○ 2024.09.09	社長
公害防止	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (東京都環境確保条例)	アイドリングストップ 排出ガス及び騒音の低減	フォーークリフト、社用車のアイドリングストップの遵守、エコドライブ	—	○ 2024.09.09	工場長
危険物	消防法	危険物が指定数量以上貯蔵又は取り扱う場合適用	少量屋内取扱貯蔵所の届出 指定数量の管理	2002年届出済	○ 2024.09.09	社長・山口部長

主な環境関連法規制等の遵守状況の評価結果は、とくに問題ありませんでした。関係当局より指導、指摘、工場周辺からの苦情もありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し

2024年度は原発処理水問題や海外情勢により、化粧品関係の需要も前年度に続き低迷している状況です。

江戸川工場に於ける印刷業務及び、小見川工場の塗装業務は稼働減となり、過去5年間の平均より20%減となりました。

2024年度の環境目標として2022年実績を対環境目標にしてきましたが、稼働減によって多くの管理項目に対して江戸川、小見川、両工場共に達成となりました。

しかしながら、稼働減の状況下に於いても未達項目もあり、要因は何か、どの様に改善活動してゆくか、課題もあります。

また、「稼働減による達成」が主因となっているので、需要が高まり、生産増となった際に各項目で未達とならない様注視し、活動してゆきたく思います。

目下、業務上使用量の多い電力、インク・塗料の効率的な使用を心掛け、環境への負荷を低減させてゆきたく、改善活動に取り組んでゆきます。

社会への責任を果たし、社会からの信頼を得られ業績向上に繋がるようにしてゆきます。

宜しくお願い致します。